

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 23,500~24,500円 TOPIX 1,780~1,850
- * 期待材料 国内政権の安定化 中国の景気対策 堅調な企業業績 企業統治改革の進展
- * 不安材料 貿易摩擦激化 中東情勢 欧州政治情勢

海外情勢を巡っては、引き続き懸念要因が多数ある。9月30日から10月3日の日程で英国では与党保守党大会が開催されるが、EU 離脱交渉が難航するなか、ハードブレグジット派議員の巻き返しの動きが懸念される。2日には、トランプ大統領と不倫関係にあったとし口止め料を受け取っていたとする女性の暴露本が出版される予定。9月上旬にトランプ氏の資質を問うような暴露本の内容や政府高官の寄稿が報道された直後には、世論調査においてトランプ大統領の支持率が下落した経緯があり、今回の暴露本出版による影響も懸念される。中間選挙を控えて支持率がさらに下落した場合には、自身の支持基盤たる宗教保守派やラストベルト地帯の労働者へのアピールのために、対パレスチナ、イラン関係や貿易問題で過激な政策や発言を行う可能性がある。また、急速にレームダック化するメルケル独政権、支持率下落の止まらないマクロン仏政権が一段と弱体化するようだと、欧州統合の流れは不透明感を増すことになる。一方で、これら上述した懸念材料が顕在化することがなければ、日経平均株価は一段の上昇も期待される状況にある。アベノミクスが始動し、企業の業績予想が新年度基準に切り替わった13年5月半ば以降の日経平均の予想PERの平均値は14.9倍であり、1,730円程度の現在の予想EPSを踏まえれば、25,800円程度の水準も期待される。今後は災害復興や防災を目的とした補正予算の策定も予定される。また、中国の関税や個人所得税引き下げ政策への期待も高まることで、今後の決算発表において上方修正の動きが優勢となれば、25,800円の期待値を上回るような株価上昇の可能性も生じよう。(9月27日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
10/1 (月)	日銀短観(8:50) 全証券取引所が売買単位を100株単位に統一 日経平均採用銘柄入れ替え	ノーベル生理学医学賞発表 [中]国慶節(~7日) [米]9月ISM製造業景況指数(23:00)
2(火)	自民党役員人事及び内閣改造 2018東京国際包装展(~5日) 江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2018 9月マネタリーベース(8:50)	ノーベル物理学賞発表 [米]Microsoft 特別発表イベント [米]ストローミー・ダニエルズさんが回顧録「全面暴露」を出版
3(水)	9月日経日本PMI サービス業(9:30) ウエルシアHD(3141)2Q決算 良品計画(7453)2Q決算 沖縄県内最低賃金762円に引き上げ	ノーベル化学賞発表 [欧]8月小売売上高(18:00) [米]9月ADP雇用統計(21:15) [米]9月ISM非製造業景況指数(23:00)
4(木)	京都スマートシティエキスポ2018(~5日)	[米]8月製造業新規受注(23:00)
5(金)	8月毎月勤労統計(9:00) サンエー(2659)2Q決算	[米]8月貿易収支(21:30) [米]9月雇用統計(21:30)
6(土)	みずほFGシステム移行に伴う4回目のサービス休止(~9日)	[モナコ]ジャパン・ウィーク2018(~8日) [ラトビア]議会総選挙
7(日)	自動車F1日本GP決勝	[ブラジル]大統領選挙(第1回投票)
8(月)	体育の日	[米]コロンブス・デー

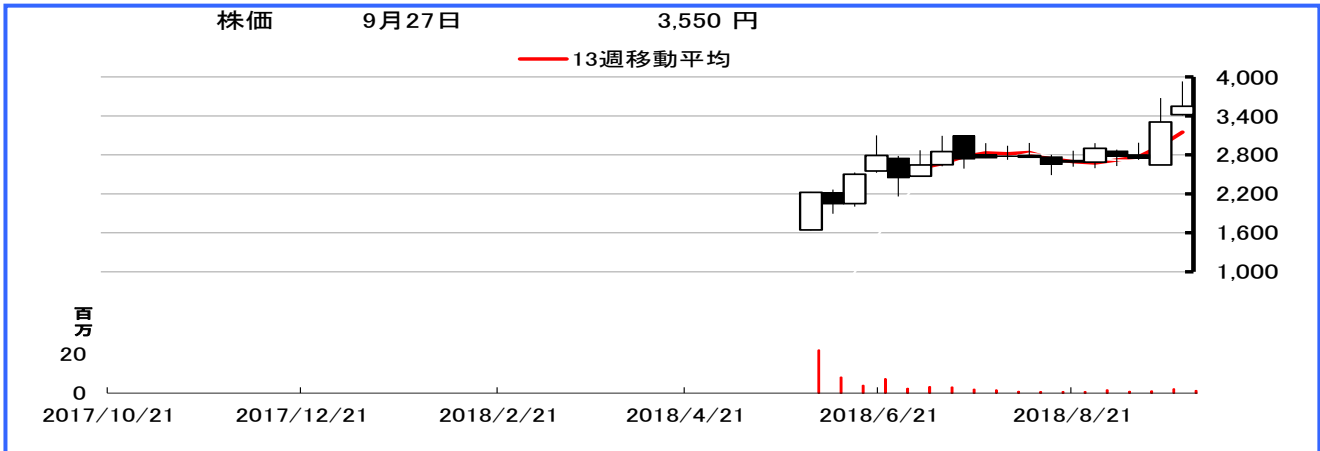
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

ラクスル (4384)

東証マザーズ



	17年7月期		18年7月期		19年7月期(予)		株価(9/27)	業種
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比		情報・通信
売上高	7,675	51.0%	11,174	45.6%	14,550	30.2%	3,550 円	
営業利益	-1,145	—	93	—	—	—	100 株	
経常利益	-1,163	—	43	—	—	—	PER(予想)	— 倍
当期純利益	-1,175	—	15	—	—	—	PBR(実績)	14.7 倍
EPS(円)	-79.6		0.7		—		ROE(実績)	0.3 %
配当金(円)	0.0		0.0		0.0		配当利回り(予想)	0.0 %
							担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

デジタル化が進んでいない伝統産業にネットなど最先端テクノロジーを導入することで、無駄を省きより便利で効率的な産業構造へ転換させるべく、印刷・広告のシェアリングプラットフォーム「ラクスル」、物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベル」を運営。祖業である「ラクスル」が、売上の90%超を占める主力事業。

「ラクスル」はネット上で顧客から注文を受け、提携の印刷会社に名刺やチラシ、ポスター、カタログなどの印刷を依頼。印刷会社の非稼働時間を活用することや効率的な製造ノウハウを自社で開発していること、WEB広告を自社で行っていることなどにより、低価格の印刷サービスを提供できることが強み。国内印刷EC市場は年率10%超で成長しており、18年度に市場規模は920億円程度に拡大する見込みで、EC化比率は3%。西欧の印刷EC化比率は15%程度あることから、国内印刷EC市場の拡大余地はまだ大きいものと思われる。「ハコベル」はインターネット上で運送会社と荷物を送りたい顧客を直接マッチング。多重下請構造の運送業界において、無駄をなくし生産性、利便性の向上を実現し顧客基盤が拡大している。

18年7月期決算は前年同期比45.6%増収、売上成長と広告効率の改善により営業利益は黒字転換。企業価値の源泉になる売上総利益は前年同期比58.8%増加。年間購入者数が前年同期比36.0%増の251,833人へ拡大し、注文回数が伸び、単価も上昇したことで「ラクスル」は41.3%増収となり、四半期ごとの売上成長が継続。「ハコベル」は注文件数、注文単価が拡大し前年同期比202.0%増収になった。今期は売上、売上総利益は30%以上の成長、営業利益以下は黒字を計画している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2018年10月1日

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価 (9/26)	決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
2489	アドウェイズ	東マ	848	19/3	500	900	80.0%	20/3	940	4.4%
3967	エルテス	東マ	1,691	19/2	100	150	50.0%	20/2	250	66.7%
3798	ULSグループ	東JQ	2,762	19/3	660	980	48.5%	20/3	1,050	7.1%
6787	メイコー	東JQ	3,325	19/3	6,800	9,900	45.6%	20/3	11,500	16.2%
2813	和弘食品	東JQ	2,960	19/3	94	135	43.6%	20/3	180	33.3%
3842	ネクスジェン	東JQ	1,925	19/3	150	200	33.3%	20/3	290	45.0%
6998	タンクス	東2	2,792	19/3	810	1,050	29.6%	20/3	1,090	3.8%
6067	メディアF	東マ	1,689	18/12	210	270	28.6%	19/12	300	11.1%
3437	特殊電極	東JQ	4,585	19/3	557	710	27.5%	20/3	810	14.1%
3565	アセンテック	東マ	4,005	19/1	310	390	25.8%	20/1	440	12.8%
6392	ヤマダコーポ	東2	2,846	19/3	1,300	1,550	19.2%	20/3	1,650	6.5%
2916	仙波糖化	東JQ	1,160	19/3	970	1,150	18.6%	20/3	1,250	8.7%
2471	エスプール	東JQ	1,894	18/11	802	940	17.2%	19/11	1,200	27.7%
3355	クリヤマHD	東2	2,114	18/12	2,800	3,240	15.7%	19/12	3,340	3.1%
3830	ギガプライズ	名セ	1,771	19/3	681	780	14.5%	20/3	910	16.7%
9478	SEHI	東JQ	231	19/3	350	400	14.3%	20/3	410	2.5%
6639	コンテック	東2	2,049	19/3	1,670	1,900	13.8%	20/3	2,000	5.3%
6882	三社電機	東2	1,304	19/3	1,700	1,900	11.8%	20/3	2,100	10.5%
3422	丸順	名2	893	19/3	3,500	3,900	11.4%	20/3	4,000	2.6%
6670	MCJ	東2	997	19/3	8,900	9,900	11.2%	20/3	10,200	3.0%
5984	兼房	東2	1,058	19/3	1,810	2,000	10.5%	20/3	2,030	1.5%
7705	ジーエル	東2	1,687	19/3	2,820	3,100	9.9%	20/3	3,300	6.5%
3150	グリムス	東JQ	1,819	19/3	1,350	1,480	9.6%	20/3	1,740	17.6%
6158	和井田	東JQ	2,318	19/3	1,666	1,820	9.2%	20/3	1,830	0.5%
9857	英和	東2	932	19/3	1,100	1,200	9.1%	20/3	1,350	12.5%
8929	青山財産	東2	1,813	18/12	1,100	1,200	9.1%	19/12	1,500	25.0%
9467	アルファP	東マ	2,381	19/3	1,200	1,300	8.3%	20/3	1,400	7.7%
3857	ラック	東JQ	2,060	19/3	2,550	2,750	7.8%	20/3	2,950	7.3%
2186	ソーバル	東JQ	1,422	19/2	632	680	7.6%	20/2	800	17.6%
6161	エステック	東2	4,625	19/3	1,295	1,390	7.3%	20/3	1,400	0.7%
3479	TKP	東マ	4,275	19/2	3,729	4,000	7.3%	20/2	4,900	22.5%
4113	田岡化	東2	5,000	19/3	2,200	2,350	6.8%	20/3	2,450	4.3%
2345	アイスタディ	東2	1,274	18/12	150	160	6.7%	19/12	200	25.0%
4308	Jストリーム	東マ	573	19/3	375	400	6.7%	20/3	520	30.0%
6185	ソネットMN	東マ	2,699	19/3	750	800	6.7%	20/3	980	22.5%
6322	タクミナ	東2	1,758	19/3	960	1,020	6.3%	20/3	1,120	9.8%
2393	ケアサプライ	東2	1,333	19/3	1,900	2,000	5.3%	20/3	2,100	5.0%
3804	システムディ	東JQ	725	18/10	380	400	5.3%	19/10	500	25.0%
2907	あじかん	東2	1,600	19/3	1,300	1,350	3.8%	20/3	1,400	3.7%
6334	明治機	東2	396	19/3	494	510	3.2%	20/3	1,000	96.1%
4966	上村工	東2	7,220	19/3	8,550	8,800	2.9%	20/3	9,000	2.3%
4381	ビーブラッツ	東マ	9,110	19/3	175	180	2.9%	20/3	400	122.2%
7564	ワークマン	東JQ	6,520	19/3	12,380	12,700	2.6%	20/3	13,200	3.9%
2902	太陽化	名2	1,698	19/3	3,900	4,000	2.6%	20/3	4,100	2.5%
2477	手間いらず	東マ	3,255	19/6	810	820	1.2%	20/6	960	17.1%
2412	ベネ・ワン	東2	3,595	19/3	7,520	7,600	1.1%	20/3	8,400	10.5%
6558	クックビズ	東マ	2,219	18/11	114	115	0.9%	19/11	300	160.9%
3583	オーベクス	東2	974	19/3	377	380	0.8%	20/3	450	18.4%
3766	システムズD	東JQ	1,128	19/3	318	320	0.6%	20/3	400	25.0%
3665	エニグモ	東マ	1,843	19/1	1,745	1,750	0.3%	20/1	1,900	8.6%

* 会社四季報秋号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、かつ東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について9/18に検索したところ445銘柄が該当した。ここでは、その中から四季報コメント等を参考に50銘柄を取り上げた。並びは今期経常利益予想の東洋経済と会社発表の乖離率順。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室